

令和5年（ネ）第1029号 石炭火力発電所建設等差止請求控訴事件










控訴人 ██████████ 外34名

被控訴人 株式会社神戸製鋼所 外2名

証拠説明書(40)

令和6年10月11日

大阪高等裁判所第14民事部E3係 御中

控訴人ら訴訟代理人弁護士	池田直樹	
同	浅岡美恵	
同	和田重太	
控訴人ら訴訟復代理人弁護士	金崎正行	
控訴人ら訴訟代理人弁護士	増本志帆	
同	杉田峻介	
同	喜多啓公	
同	與語信也	
同	青木良和	

頭書事件につき、下記のとおり証拠の説明をする。

記

【甲C号証】

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考	
甲C ア-26 の2	脱炭素社会に 向けた石炭火 力発電の位置 づけに関する 意見	原本	2024年10 月9日	増井利彦、 日比野剛、 久保田泉	甲Cア26の意見書について、同意見 書提出時点から約1年を経過する中 での、最新のデータやそれを反映し た資料への差替えや追加、説明の追 加を行い、また、グラフなどについ てより分かりやすいように説明を追 加した、更新版の意見書	
甲C ア-26 の3	意見書の修正 点についての 説明資料	写し	2024 年 10 月 10 日	控訴人ら訴 訟代理人	甲Cア-26の2の意見書の、甲C ア26からの修正・追加点について の説明	
甲C ア-34	令和6年夏の 記録的な高温 や大雨に地球 温暖化が寄与 —イベント・ア トリビューシ ョンによる速 報—	写し	2024年9 月2日	文部科学省	イベント・アトリビューションによ り、令和6年7月の記録的な高温及 び令和6年7月下旬の北日本日本海 側の大雨に、地球温暖化がどの程度 寄与していたか速報的に解析したと ころ、7月の記録的な高温は地球温 暖化の影響が無かったと仮定した場 合はほぼ発生しえなかったこと、7 月下旬の日本海側の大雨は地球温暖 化の影響で総雨量が増加していたこ とが明らかになったこと	
甲C ウ-12 5	気象庁ウェブ サイト(日本の 年平均気温)	写し	2024年1 月4日	気象庁	日本の年平均気温偏差の経年変化	
甲C エ-27 の1	COP28における グローバルス トックテイク の結果決定 (Decision/CM A.5)	写し	2024年3 月15日	UNFCCC	2023年11月にドバイで開催された COP28において、パリ協定第14条に 基づき行われた第1回グローバルス トックテイクの結果を踏まえ、2030 年までにエネルギー効率2倍化、再 エネ設備容量3倍化などが決定され たこと	
甲C エ-27 の2	抄訳	写し	2024年7 月24日	控訴人ら代 理人	同上 甲Cエ-27の1の抄訳	

甲C コー13	神戸発電所 3・4号機設置 計画事後監視 調査結果報告 書（令和5年 度）（抜粋）	写し	2024年8 月	被控訴人株 式会社コベ ルコパワー 神戸第二	2023年4月から2024年3月までの 間に、新設発電所（神戸発電所3号 機・4号機）からは、年間約637万t ものCO2が排出されていること
甲Cコー 14	コベルコグル ープESGデー タブック2024	写し	2024年8 月	被控訴人神 戸製鋼	2030年までの間、新設発電所（神戸 発電所3号機・4号機）と、既設発電 所（神戸発電所1号機・2号機）をと もに石炭専燃（石炭のみを燃料とし て稼働すること）で稼働するものと されており、その排出削減計画及び 排出削減量については一切示されて いないこと（19頁の図などを参照）
甲Cコー 15	関西電力グル ープ統合報告 書2024	写し	2024年9 月	被控訴人関 西電力	被控訴人関西電力は、グループでの CO2排出量に関し、被控訴人神戸製 鋼らの新設発電所からのCO2排出量 が含まれる「スコープ3」について 目標設定としていないこと 「スコープ1」「スコープ2」「スコー プ3」の全体で見て2030年度に2013 年比で50パーセント削減するとの 目標が掲げられているものの、「スコー プ1」「スコープ2」において削減 するものとされている部分が占める 割合が大きいことから「スコープ 3」での削減割合は低いこと 実際にも、51頁の図でみると「スコー プ3」の2013年時点の排出量は 4,030万tであるが、2030年のと ころでは2,970万tとされており、「ス コープ3」全体で見ても25パーセン トしか減少しない計画であること
甲Cコー 16	エネこれウェ ブサイト	写し	2023年 11月（更 新時）	経済産業省 産業技術環 境局地球環 境対策室	サプライチェーンを通じた温室効果 ガスの排出量算定方法と「スコープ 1」「スコープ2」「スコープ3」の 分類
甲Cコー 17	サプライチェ ーン排出量算 定におけるよ くある質問と 回答集	写し	2022年3 月	環境省	電力小売事業者が、売電用に外部か ら電力を調達している（自社で電力 消費しない）場合は、当該電力の発電 時における排出量をスコープ3のカ テゴリ3に計上することとされている こと

以上